

事務事業チェックシート

事務事業No 18 事業名 避難場所整備事業（避難誘導標識の設置等）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	4	防災体制の充実
施策	3	災害等に強い体制づくりの推進
取組方針	2	避難体制及び避難所運営体制の構築

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	和歌山市地域防災計画	
担当課・担当課長 (Tel)	総合防災課	川崎 勝 (435-1199)
関連課	教育施設課	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	総務管理費		
	目	総合防災費		
	大事項	総合防災事業		
事項	避難場所整備事業			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	災害時において市民が円滑に避難することができるよう、避難場所の指定と周知を図る。	避難場所の指定及び避難誘導標識、避難誘導灯等の設置・維持管理を行う。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		①避難標識の点検 ②避難標識の修繕	①避難標識の点検 ②避難標識の修繕 ③LED避難誘導灯	①避難標識の点検 ②避難標識の修繕 ③LED避難誘導灯 ④打ち込み井戸設置 ⑤震度感知式鍵ボックスの設置 ⑥和歌山市版「稲むらの火」	①避難標識の点検 ②避難標識の修繕 ③震度感知式鍵ボックスの設置	①避難標識の点検 ②避難標識の修繕 ③震度感知式鍵ボックスの設置

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,984	913	1,507	40,917	89,574	68,319	6,428		6,428	
伸び率 (%)	-	-	▲24.0%	4381.6%	5843.9%	67.0%	▲92.8%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	5,744	7,076	6,069	13,445	13,094	14,151	14,151	14,151	
	正規職員以外	503	432	432	1,679	1,179	1,415	1,833	1,833	
	小計	6,247	7,508	6,501	15,124	14,273	15,566	15,984	15,984	
国庫支出金										
県支出金				39,778	58,904	53,419	2,707		2,707	
市債					22,300	10,000				
その他										
一般財源（税等）	1,984	913	1,507	1,139	8,370	4,900	3,721		3,721	
所要人数（人）	正規職員	0.77	0.95	0.82	1.77	1.72	1.78	1.78	1.78	
	正規職員以外	0.24	0.23	0.23	0.80	0.57	0.57	0.69	0.69	
主な予算内訳	整備工事請負費 5,414千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
(和歌山市版「稲むらの火」)の設置	箇所	目標値			28		
		実績値			28		
		達成度 (%)			100.0%		
震度感知式鍵ボックスの設置	箇所	目標値			9	16	16
		実績値			9		
		達成度 (%)			100.0%		
(和歌山市版「稲むらの火」)の設置率	%	目標値			100		
		実績値			100		
		達成度 (%)			100.0%		
震度感知式鍵ボックスの設置率	%	目標値			21.95	60.98	100
		実績値			21.95		
		達成度 (%)			100.0%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各地区に海拔表示板を2000カ所設置したことで、概ね地区内の主要道路では付近の海拔が分かるようになっていく。又、避難先の入口付近に太陽光発電式蓄電池内蔵型LED避難誘導灯を設置することにより、夜間照明を確保することができている。
見直し・改善内容	円滑な避難を確保するため、震度感知式鍵ボックス等の設置を推進する。